

管理物件の安心・安全に関する大事なお知らせです。

地震・火災、「いざ」という時に 確実に動きますか？

避難経路や共用部の
一般錠、電気錠を
点検しましょう。

一般錠 10年
電気錠 7年

これは錠の耐用年数のことです!!
耐用年数は、錠の基本性能と使用状況により維持
できる期間をいし、取り換えの時期を表すものです。

**安全を守るものだから、
定期的な保守点検でベストな状態に。**

定期的な保守点検は、機能性と防犯性の維持だけでなく物件の信頼性向上にも繋がります。

■ご相談はお近くの専門店、または下記まで。
JLMA, 日本ロック工業会
<http://www.jlma.org/>
財三, 日本ロックセキュリティ協同組合
<http://www.jalose.org/>

- 2) 経済性 (寿命が伸びる・経費の予算化)
 - ・保守料金は定額で予算化できます。
 - ・消耗部品、その他の部品も点検により状況把握ができます。
 - ・大きな部品交換などが避けられ維持費の低減につながります。
 - ・出張費・技術作業代も保守料金に含まれていますので新たな出費は発生しません。
- 3) 信頼性 (適切な維持管理)
 - ・24時間365日対応で、障害発生時、契約ユーザは優先的に迅速に修理対応いたします。

保守点検制度は2012年6月9日(ロックの日)にスタート致しました。
保守点検についてのお問合せは、

○日本ロック工業会事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-7-2 フジタビル 6F
TEL 03-3518-9938 FAX 03-3518-9939

○日本ロックセキュリティ協同組合事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23-4 コーシンビル 2F
TEL 03-3265-0505 FAX 03-3265-0806

までお願い致します。



CPマーク 防犯建物部品

警察庁、国土交通省、経済産業省と建物部品関連団体で構成する「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」では、侵入犯罪に強い防犯建物部品の開発・普及活動を行なっています。CPは、防犯性能試験に合格し、防犯性能の高い建物部品目録に掲載された製品のみで使用が認められています。

防犯建物部品のおすすめ!

関係機関の調査によると、侵入に手間取り、侵入をあきらめる時間について「2分以内」と答えた侵入者が17.1%、「2分を超えて5分以内」と答えた侵入者は51.4%となっています。
つまり、犯罪者の攻撃に対し建物部品が「5分」耐えることができれば、約7割の侵入者が侵入をあきらめるということなのです。
官民合同会議では、この「5分」耐えうることを防犯性能の基準としました。

CP錠って
安全、安心だね!

安全・安心「防犯の日」の制定

CP 5月13日は
安全安心「防犯の日」

防犯性能の高い建物部品

5月13日はCPマークの商標を出願した日です

侵入を諦める時間が5分以内と答えた犯罪者が7割!! CP製品は5分以上耐える優れた性能をもった安全・安心な建物部品です。

JLMA 日本ロック工業会

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-7-2 フジタビル6F
TEL.03-3518-9938 FAX.03-3518-9939
<http://www.jlma.org>

日本ロック工業会

検索

■お問合せは…

カギは自分で選ぶ時代! 安全・安心・快適な暮らしのための

実用性能

耐用年数

保守点検

CPマーク

知っておこうカギのこと



実用性能認定制度

錠を正しく選定することにより製品事故を防止し、ユーザーの安全・安心を確保するための制度です。

(2012年12月スタート)

錠の実用性能認定制度が制定されました。

本制度は錠を正しく使用するため用途、場所、環境に応じた錠選定時の判断の目安を示し、安全安心を確保することを目的としています。



錠の実用性能認定
ロゴマーク

■錠の実用性能認定項目とピクトについて

- ・認定品には6項目の試験結果を表示しています。
- ・建築物の開口部の戸に用いる錠の実用性能項目は以下の数字6桁で表示しています。
- ・錠の種類によっては必要のない性能があります。必要のない性能は0で表示しています。
- ・各項目とも数字が大きくなると性能グレードは高くなります。但し、デッドボルトは出寸法が大きくなります。

カギにも選び方があるんだね！



各項目は日本工業規格（JIS）の試験方法に基づき試験をした結果及びその錠前が持つ実力値を表示しています。
認定品の評価結果は日本ロック工業会ホームページにて性能が分かるよう、順次掲載致します。
試験は日本ロック工業会が認定した試験所にて行なわれています。

ピクト表示

使用頻度による性能（グレード／1～4）

扉の開閉操作や施錠操作の耐久性能です。
グレード1と2は住宅。グレード3と4はオフィスビルなど。住宅とオフィスビル等のグレード違いは、その中で比較的に使用頻度の少ないところと多いところ。



外力に対する性能（グレード／1～4）

機械的荷重による錠の強さを表している性能です。
グレード1は室内、グレード2は使用する扉に対して内部もしくは外部にもう一枚施錠できる扉がある場合。グレード3は外部扉、グレード4は無入になる外部扉。



使用扉の質量に対する性能（グレード／1～4）

使用扉の重さによって、錠の操作強度等を表している性能です。
グレード1は室内の軽量木扉。グレード2は一般アルミ扉・木製扉。グレード3はスチール扉。グレード4は重量スチール扉。



かぎ違い（グレード／1～5）

シリンダーのかぎ違い数を表しています。
グレード1は住宅室内。グレード2は住宅。グレード3はオフィスビル等の中規模物件。グレード4はオフィスビル等の大規模物件。グレード5はオフィスビル等の超大規模物件。



デッドボルトの出寸法（グレード／1～4）

デッドボルト（カンヌキ）の施錠時の突出寸法を表しています。
グレード1は11mm、グレード2は14mm、グレード3は17mm、グレード4は20mm以上を示す。



耐じん性能（グレード／1～2）

シリンダーの砂やホコリに対する耐用性を表している性能です。
グレード1は室内用、グレード2は外部用です。



例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
2 3 2 2 3 2

錠の耐用年数

日本ロック工業会は、耐用年数を一般錠10年、電気錠7年と決めました。(2012年2月スタート)

製品寿命が原因で、財産・生命・身体に被害を及ぼす事故の発生する可能性があるため、製品の経年劣化による重大事故を未然に防止するための措置の必要性が認識されるようになりました。

日本ロック工業会（JLMA）では、錠を適切に保守・点検することで長期間安全に使用していただくことを目的とし、標準的な期間を耐用年数として設定しました。

※錠の耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えの目安の期間として日本ロック工業会が設定するもので、製品の保証（無償修理）期間とは異なります。

錠の耐用年数は、その基本性能を維持する為に定期点検や、定期メンテナンスが必要です。

カギにも寿命があるんだね！

■製品取替サイクル



保守点検制度

経年変化による重大事故発生のおそれを未然に防ぐための制度です。(2012年6月スタート)

●目的

ユーザーが錠を安全上支障なく使用できるような状態を維持管理することが求められており、これを実現するために保守点検を行います。

●保守点検の対象

特定保守箇所の錠について保守点検の対象とします。

特定保守箇所の錠とは、ユーザーによる保守が難しく老朽化のおそれが高いところに使用されている錠であり、具体的な対象の錠は、「避難経路にある錠」と「全ての電気錠」です。

■エンドユーザーの保守契約のメリット

24時間休みなく活躍している電気錠も、ひんぱんに使われる一般錠も、いつかは故障します。故障でなくても、使えなくなる場合もあります。ひとたび故障すると、早急に修理が必要となり、復旧するまで不自由を強いられます。

1) 安全性・安心感（機能低下や故障によるトラブルの未然防止）

- ・トラブルを防ぐには、日常点検と保守点検を定期的に行うことで、故障の予測と予防をすることができます。
- ・普段使わない緊急機能も動作確認により安心できます。
- ・故障を発見し、即刻適切な対応ができます。
- ・故障の前兆を発見できます。
- ・専門技術者による確かな保守点検を定期的を実施することにより、故障を予測し、予防することができます。
- ・錠の品質を維持することができます。

カギも点検してくれるんだわ！

